



図書館だより



第24号
July/2017

下関市立大学附属図書館

盛夏、遊びたいのは人間だけではないようで…

試験が終わるといよいよ夏休みですね。今年の夏は何をして過ごしますか。

地元に戻って旧友に会う？家族でキャンプ？サークルでバーベキュー？恋人と夏祭り？どれも楽しそうですね。でもご注意ください。気づいたら一人増えていた…なんて。

少しひんやりしたところで、図書館から夏の怪談特集のお知らせです。

本格的に怖いものから、ほっこり感動する作品まで取り揃えていますので、ぜひ手に取って読んでみてください。

映画の原作本



一生に一度だけ死者に逢わせてくれる「使者」。もし会えるとしたらあなたは誰に会いたいですか。(2012年公開)



あの人お父さんじゃありません…隣に住む一家の秘密から逃げ切れるか！日常スリルホラー。(2016年公開)



大学を舞台に、青春オカルトミステリ！この胸のドキドキは恋のしわざか、霊の仕業か！(2016年公開)

司書のおすすめ



『霊応ゲーム』

気弱な性格から同級生や教師から虐げられていたジョナサンはある時、優秀だが一匹狼のリチャードと仲良くなることに。憧れや羨望、依存や嫉妬、複雑に絡み合う少年たちの心はどこへ向かうのか。一気読み必至の一冊です。



『緑の我が家』

父親の再婚を機に、一人暮らしを始めた高校生の浩志。白紙の手紙、無言電話、不気味な子供や、一面を覆う落書き。ただの嫌がらせなのか。浩志の感じる「ひどく嫌な気分」の正体とは。このアパート何か変。



『あずきとぎ』

夏休みにいなか遊びにきた男の子。川に入りたけれど、危ないから駄目だといわれる。でも、どうしても入ってみたい…何かが忍び寄ってくるような、絵本なのに息が詰まる作品。



河童から三太郎まで

妖怪の秘密

教えちゃいます！

《図書館カウンター前に展開中！！》

